代議員通信

第3号
2021年8月
発行
広島司教区
平和の使徒
推進本部

お問い合わせは、
request@2020synod-hiroshima-catholic.info

教区代表者会議の準備を

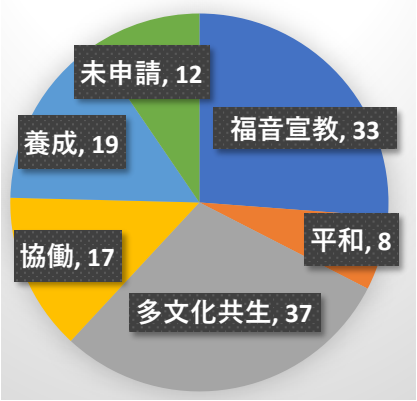
アレキシオ白浜満司教

広島教区が、今年の十一月に開催する「教区代表者会議」に向かって現在行われている準備は、自分が所属している教会共同体の中で「親しく温かなかかわり」を育てていく良い機会です。第三回となる今回の「教区代表者会議」は教区創立百周年（二〇二三年）以降に、広島教区として取り組んでいくべき、いわば「持続可能な目標」を皆で検討することがその目的です。

教区代表者会議準備事務局が昨年行ったアンケート調査をもとに、教区代表者会議の中で審議される具体的な提言案が作成され、皆様のもとに配布されたのではないかと思います。五つの分科会（福音宣教、平和、多文化共生、協働、養成）に関連して、約三十の具体的な提言案が示されています。今後は、これらの提言案についてそれぞれの教会共同体において分かち合いをし、教区の皆様からのご意見をいただく段階に移ってきています。これらの提言案で指摘されていることが、神様のみ旨に一致し、真に有益で実現可能な目標となり得るのか否か、皆様の忌憚のないご意見をお寄せいただければと思います。（二〇二一年四月発行教区報より抜粋）

代議員の参加分科会ほぼ決定

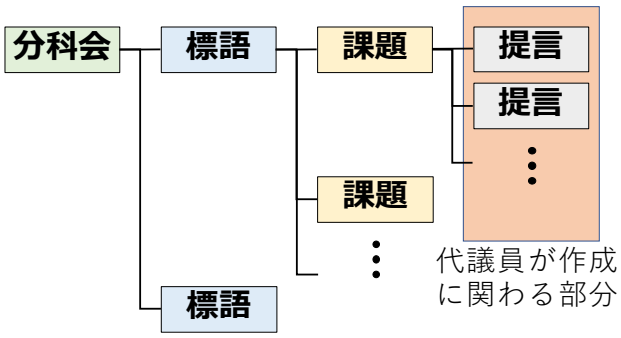
代議員の希望分科会の申請がほぼ終了した。多文化共生、福音宣教、養成に多くの希望者が集まるなど、分科会によって希望人数に差が出ている。しかし代議員の希望を尊重すべきとの判断で全員第一希望の分科会への参加をお願いすることとなった。まだ若干名未申請の代議員もいるので、申請がまだの代議員は実行委員会に連絡をしてください。



分科会の希望人数と割合
（7月末時点）

代議員の役割

現在各分科会には提言案が提示されているが、これからの分科会活動ではこの提言案を修正、加筆していくことが求められている。代議員は各小教区や団体で現在提示されている提言案について話し合いを行い、より良い提言案になるように、分科会長や他の代議員ともよく話し合いながら完成させ、代表者会議当日に臨むことが期待される。



分科会、標語、課題、提言の構成と代議員の役割

分科会活動始まる

五つある分科会のトップを切って、「多文化共生」分科会が代議員とのミーティングをZoomを使って八月八日と九日の両日に行い多くの代議員が参加した。他の分科会も順次活動が開始される予定。

コロナ禍の影響等について

現在、新型コロナウイルスの影響で教会活動に重大な影響が出ています。教区代表者会議の準備については、教区や自治体の指示に従った上で、感染対策を十分にとり、無理のない範囲で行ってください。

またバチカンから発表された世界代表司教会議への対応も今回の代表者会議と並行して進めます。具体的な要請事項が公開されましたら改めてお知らせします。

なお、十一月二十三日の代表者会議の実施可否に関しては、十月ごろの感染状況等を見た上で決定され、皆様にお知らせします。

お知らせ

今までの教区代表者会議の情報が教区ホームページに掲載されるようになりました。代議員の皆様は是非一度チェックしてみてください。

代表者会議情報へのアクセスQRコード

2020教区代表者会議特設ページ

編集後記

今回の第3号より代議員通信を一枚にまとめることとしました。

また教会にも掲示して、信徒の皆様にも目を通して頂けると幸いです。